

くすりのしおり

注射剤

2013年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ピスマラー注 5mg

主成分：クロルフェニラミンマレイン酸塩(Chlorpheniramine maleate)

剤形：注射剤

シート記載：



この薬の作用と効果について

アレルギー反応に関与する物質（ヒスタミン）が、ヒスタミン受容体に結びつくのを抑制して、アレルギー症状を抑え、炎症を起こりにくくします。

通常、じんましんや湿疹・皮膚炎などに伴うかゆみ、アレルギー性鼻炎などの治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障、前立腺肥大など尿が出にくい。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は<<< :医療担当者記入>>
- ・通常、1日1～2回、皮下、筋肉内または静脈内に注射します。具体的な使用期間については、担当の医師にお聞きください。

生活上の注意

- ・眠気やめまいが起こることがありますので、注射のあとは自動車の運転や危険を伴う機械の操作は避けてください。
- ・アルコールは薬の作用を強めることがありますので、注意してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、光線過敏症、鎮静、神経過敏、口渇、胸やけ、頻尿、排尿困難、低血圧、頻脈、血小板減少、溶血性貧血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・顔面が蒼白になる、胸が苦しい、息が苦しい、意識が混濁する [ショック]
- ・筋肉が発作的に収縮する状態 [痙攣]
- ・考えがまとまらない [錯乱]
- ・貧血症状（動悸・息切れがするなど）、出血傾向、発熱 [再生不良性貧血]
- ・発熱、倦怠感、のどの痛み、頭痛がする [無顆粒球症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。